



アクテナ

NO. 110

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ



「はみ出し者たち」

LONTO

(道化師・ラストラーダカンパニー演出)

道化師やサーカスは舞台芸術という世界から締め出しをくらうことが多い。15年前、公共施設に劇場を借りに行った際「サーカスは芸術ではないのでうちの劇場は貸せません」と断られた。演劇関係者からはサーカスや道化師は「ストーリーやメッセージがない。」と言われ続けた。舞台上で自分の世界を表現したいという思いは同じだろうに何故か。

「サーカスは芸術ではない」という認識は映画「グレイテストショーマン」を観てもよくわかる。上流階級の人々が観るバレエやオペラとサーカスを区別する階級社会、身分差別。もともと道化師はそんな差別や人々の鬱憤と隣り合わせ。きっと宮廷道化師の時代からそんなものを含んでいるのだろう。悪気はなくとも今もそんな歴史的背景がチラチラする。

ところで道化師とは風船を作る人？お手玉をする人？...悲しいかな、お祭りピエロのイメージが強い。ホントは単に芸をする人のことではない。しかしそれを要求されることの何と多いことか。

日本での道化師の認識は低い。かといってそれを払拭できる道化師が少ないのも事実。

道化師はいわゆる人間をデフォルメした存在とも



厚生労働省児童福祉文化財
「サーカスの灯」
全国を巡演中

言える。悲しい時には泣き、楽しければ笑う。もちろん悪知恵も働き、そんな姿を素直にさらけ出す。メルヘンとは裏腹に実に人間臭い存在だったりする。

道化師はそこに存在し生きていることに意味がある。「演じる」のとは違う。とにかく一生懸命そこに生きる。失敗やコンプレックスを笑いに変えるという素晴らしい考え方も持っている。日常の一コマを、そんな視点で見ることができたなら人生はより楽しい...かもしれない。その中に共感する一コマを観客が見出してくれればそれでいい。これがこうと言わなくていい。それを正す必要もない。人生を一言のストーリーで示すことは難しい。「道化師は脇役」と教えられてきた。主役はお客さんであり、その手助けをするのが我々なのだということ。メッセージはお客さんの中にある。



「国体開会式オープニングセレモニー」
'21年1月27日
愛知県芸術劇場大ホール

さて、締め出しをくらうことが多い中、最近変わ

りつつもある。演出・出演したサーカスが厚生労働省の児童福祉文化財 舞台芸術部門の最高賞を受賞。サーカスが受賞するのは初。もちろん授賞式には正装の白塗りで乗り込んだ。「舞台芸術部門」に「サーカスと道化師」。なんたる皮肉。

認められるように頑張らねばと(頑張らねば? 違うな「コンヤロー見てろよ」が本音か)と思ってから15年、ようやく扉が開かれつつある!...と喜ぶのもつかの間、昨日、東京にいる道化師仲間が「サーカスは芸術じゃないから劇場は貸せない」と断られたそう。....チーン。ふりだしに戻る。

勿論少しずつ入口を開けてくださる方々もいる。まだまだ狭い隙間ですが、....でも結局「認められない」という所にこそ存在意義があったりして。

まあ、とは言え、そんなつまらない想いは全部まとめて隠しちゃいますけど。赤い鼻という小さな仮面にね。

トピックス

「いざや進まん、ドイツへの道」

結崎 涼 (劇団Sturm und Drang 主宰)



劇団Sturm und Drang
「君がため」
'21年7月16日、17日
名古屋能楽堂にて上演予定

劇団Sturm und Drang 2021年夏公演「君がため」本公演は同時に劇団15周年記念ドイツ公演へ向けた「ドイツ三部作 第一弾」でもある。三年がかりで上演する三つの作品はそれぞれ完結した物語であるが、第一弾の主人公と第二弾の主人公が時空を超えて第三弾で出会い、ドイツ公演で全てが完結するという構成である。

10周年公演を終え、「15周年はドイツで！」と言い出した2018年当初は、遙か遠くに霞むゴールを何とか目の端に捉えようと必死にもがいていたのを思い出す。しかし、それが一年も経つと妙に板についてくるというか、余り気負わず口に出せるようになり、応援してくださるお客様も増えてきた。ただ、ゴールは相変わらず砂漠のオアシスのように、見えるけれどもたどり着けない・そんな状況だったと思う。そして2020年、これまでに経験したことのない荒波がやって来た。出口の見えないトンネルの中で何ができるか？ひたすらに知恵を絞った一年であったが、振り返れば7月と10月、二回の公演を上演し、それぞれほぼ満席のお客様を

お迎え出来たのは、最高の喜びであり、どのような状況下でも歩を先へ進める勇気につながった。

そうして迎えた2021年、事態はまさに急展開した。ドイツのとある劇場とパイプが繋がったのである。あんなに遠く霞んでいたゴールが、白日の下ははっきりと姿を現し、射程圏内に飛び込んできたのだ。この日は流石に興奮して眠れなかった。もちろん、これで公演が確定したわけではない。言葉の違う国の人々に何を伝えるか、どう伝えるか。クリアしなければならない課題は山積している。

しかし、ゴールは見えた。後は突き進むだけである。

本公演は、ドイツ三部作の第一弾ということ意識して背景を平安時代に設定した。日本古来の文化、日本人独自の生き方を土台に書き上げたオリジナル作品である。名古屋能楽堂で琴の演奏と共にお届けする。

お時間の許す限り、是非ともご覧いただきたい意欲作である。

アクテノン・シャワー

■ キャンドル演劇奨励基金の助成作品募集

キャンドル演劇奨励基金(名古屋テレビ事業が平成5年に設定)が、2021年度の助成作品を募集します。愛知県内に活動拠点を置く演劇団体の舞台公演が対象です。3作品を採用して、各30万円を助成します。募集の要項は下記の通りです。

- ① 対象作品：愛知県内に活動拠点を置く演劇団体の県内舞台公演 3作品
- ② 公演期間：2021年10月1日～2022年9月30日
- ③ 助成金額：1作品 30万円
- ④ 募集期間：2021年6月30日(水)まで
- ⑤ 応募方法：所定の申込書を下記へ送付
- ⑥ 申込書の請求および送付先：〒105-8574 東京都港区芝3-33-1

三井住友信託銀行 個人資産受託業務部 公益信託グループ
キャンドル演劇奨励基金申請口(TEL 03-5232-8910)

申込書掲載URL <https://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>



■ 第1回名古屋女性演劇賞受賞者決定のお知らせ

受賞者
おぐりまさこ
(空宙空地)



〈略歴〉

2013年に演劇ユニット「空宙空地」を立ち上げ、代表兼プロデューサーとして活動。2015年7月に関戸哲也氏が参加し、二人体制となる。

URL <http://www.coochuhcoochi.com/about.html>

動画配信 受賞者からの喜びのコメント全文をYouTube「SMILE×SMILE NAGOYA」で動画配信しています!是非ご視聴ください。

名古屋女性演劇賞 動画

検索



受賞コメント

この度は、身に余る栄誉をいただき、本当にありがとうございます。

舞台演劇は、同じ空間でお客様と舞台上の空気が一緒に震える瞬間があり、俳優や舞台効果だけでなく、観客の皆さんと一緒に作っていくものだと思います。一緒に息を飲んで、笑って、ドキドキすることが、私にとっての舞台の魅力です。

私は、何か大きな武器や取り柄を持っているわけではないと思っているので、せめて皆さまにご恩をお返ししていけるよう、これからも精一杯、真摯に向き合っ、ひとつひとつの機会を大切に、舞台公演をつくっていきたいと思います。



編集発行/令和3年5月25日(年4回)

名古屋文化振興事業団 [演劇練習館 [アクテノン]]

〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-4-7

TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



「友の会」会員募集中!
<http://www.bunka758.or.jp/>

施設からの
情報をご
覧いただけ
ます!

